ARCHITREND ZERO

仕様書入力編

各マスタからその物件だけの仕様を整理した仕様書データの作成・利用について解説します。

本解説では、サンプル物件から、部屋、建具、外部、設備などの仕様を抽出して仕様書データを作成します。（商品シリーズ元になる物件から仕様をデータ抽出して、同仕様の他物件で利用できる仕様書ファイルとして保存する流れ）

次に、保存した仕様書ファイルを新規物件に読み込み、平面図、屋根伏図、天井伏図等を作成していくことで、シリーズ仕様に沿った類似物件を提案・検討し易くなります。

【サンプル物件ファイルについて】（サイトの「サンプルデータの一括ダウンロード」より入手可）

解凍先の「ZERO_Donyu_data¥仕様書入力編¥サンプル A 新築工事.fcbz」をインポートしてください。

1 仕様書データを作成する ____ 2

物件データ（サンプル）をインポートする ____2
図面から仕様書データを作成する ____3
仕様を確認する ____4
仕様を別ファイルに保存する ____5
物件データに保存する ____5

2 仕様書データを編集する ____ 6

仕様書パネルを開く ____6
部屋仕様を追加する ____7
建具の追加と部屋の関連付けを行う ____7
仕様書ファイルを更新する ____8
［補足］仕様書の変更を図面に反映するには ____9

3 仕様書パネルから図面へ入力する ____ 10

新規物件の情報を作成する ____ 10
仕様書ファイルを開く ____ 10
仕様書パネルから部屋を入力する ____ 11
仕様書パネルから建具を入力する ____ 11
仕様書パネルから階段を入力する ____ 12
柱・壁・仕上を自動配置する ____ 13
仕様書パネルから部品を入力する ____ 13
2 階を入力する ____ 13
屋根を自動配置する ____ 14
［補足］仕様を入れ替えて図面に反映するには ____ 14
［補足］別仕様で立体と見積をシミュレートするには 15

4 仕上・設備の仕様一覧を作成する ____ 16

仕様書ひな形（Excel）に出力する ____ 16
［補足］Excel 出力と外部仕上表・内部仕上表プログラムの使い分け ____ 16
［補足］仕様書パネルのポップアップメニュー ____ 17

本マニュアルは、ARCHITREND ZERO Ver.9 で制作しています。
お使いのプログラムと一部画面と操作が異なる場合があります。

福井コンピュータアーキテクト株式会社

1 仕様書データを作成する

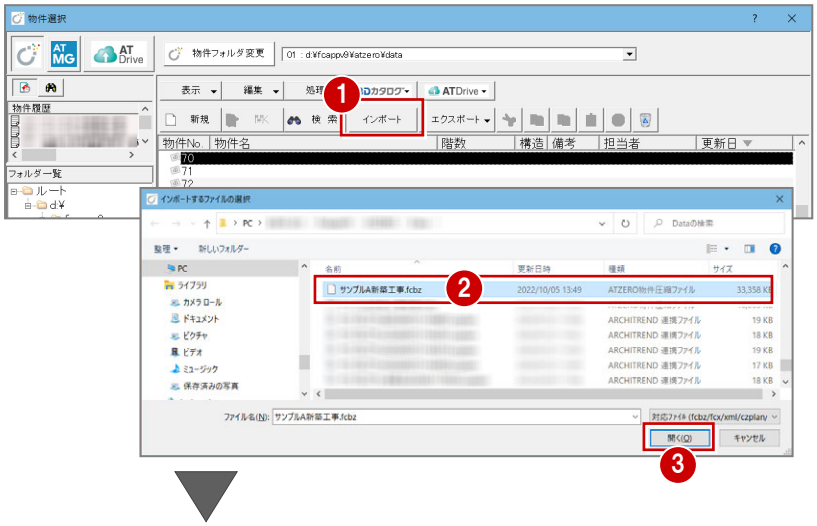
仕様書の元になる平面図、天井伏図、屋根伏図を作成し（配置図は対象外）、これらの図面データから仕様書を作成します。
ここでは、「サンプル A 新築工事.fcbz」をインポートして利用します。

物件データ（サンプル）をインポートする

❶［物件選択］ダイアログの［インポート］をクリックします。

❷「サンプル A 新築工事.fcbz」を選択します。

❸［ファイル名］を確認して、［開く］をクリックします。



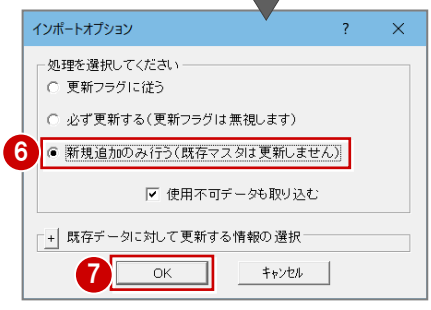
❹ 確認画面で［はい］をクリックします。

❺ 確認画面で［チェック ON のマスタを取り込みます］をクリックします。
※マスタを取り込まない場合は、適宜に割り付けなおしてリンク切れ等が無い状態に調整してください。

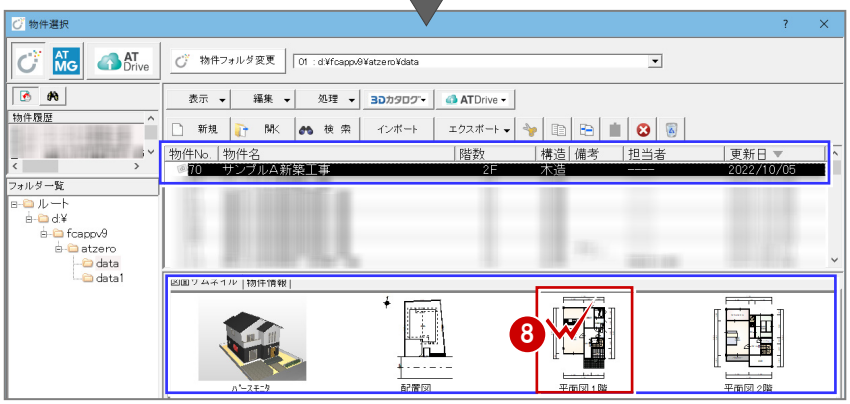
❻［新規追加のみ行う］をクリックします。

※「3DC マスタ」の同期処理は各自でおこなってください。

❼［OK］をクリックします。



❽［物件選択］画面に「サンプル A 新築工事」物件データ取り込まれます。
その物件の「平面図」を開きます。



図面から仕様書データを作成する

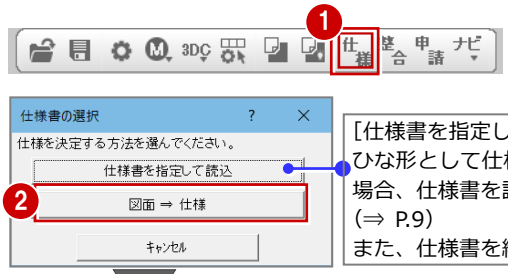
元となる物件から仕様書データを自動作成します。

❶ ツールバーの［仕様］アイコン（仕様書からの入力）をクリックします。

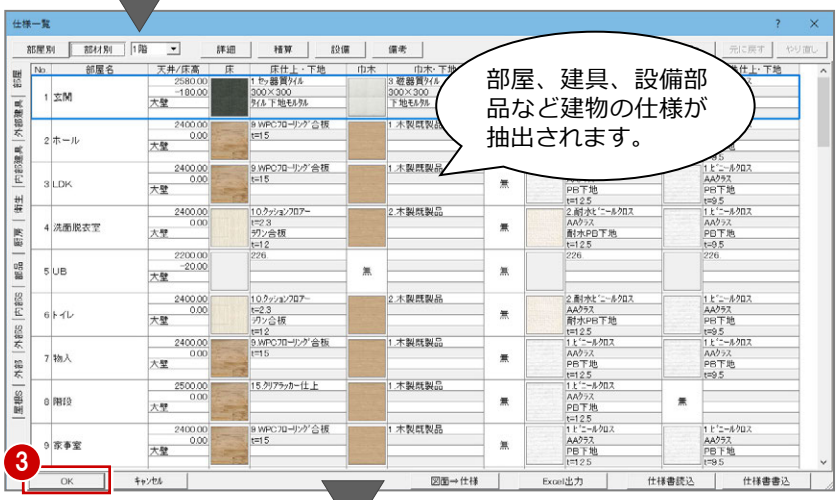
❷ ［図面⇒仕様］をクリックします。

※ このダイアログは、編集中の物件において、初めて仕様書を使うときに表示されます。

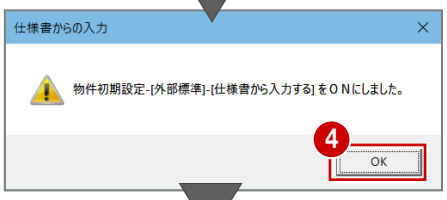
このダイアログでの編集については、P.6 を参照してください。



［仕様書を指定して読込］
ひな形として仕様書がファイルに保存されている場合、仕様書を読み込んで図面を作成します。
(⇒ P.9)
また、仕様書を編集したいときにも使用します。

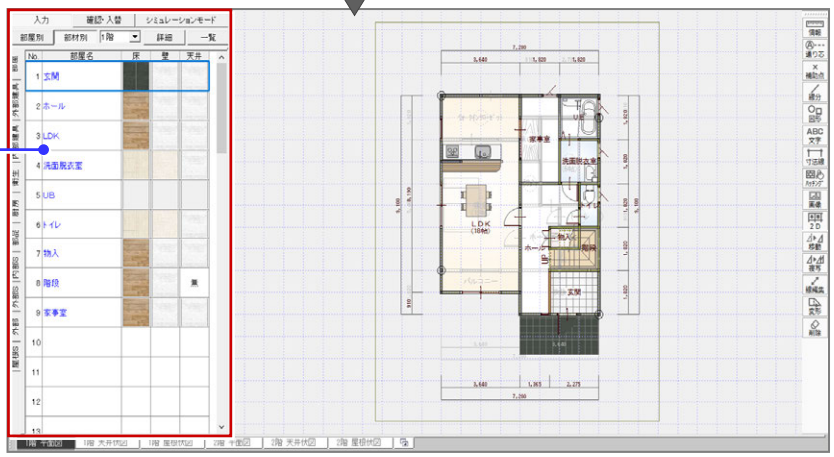


❸ ［仕様一覧］ダイアログで取り込まれた仕様を確認して、［OK］をクリックします。



❹ 物件初期設定の外部標準の確認画面で［OK］をクリックします。

右図のような「仕様書パネル」が開きます。



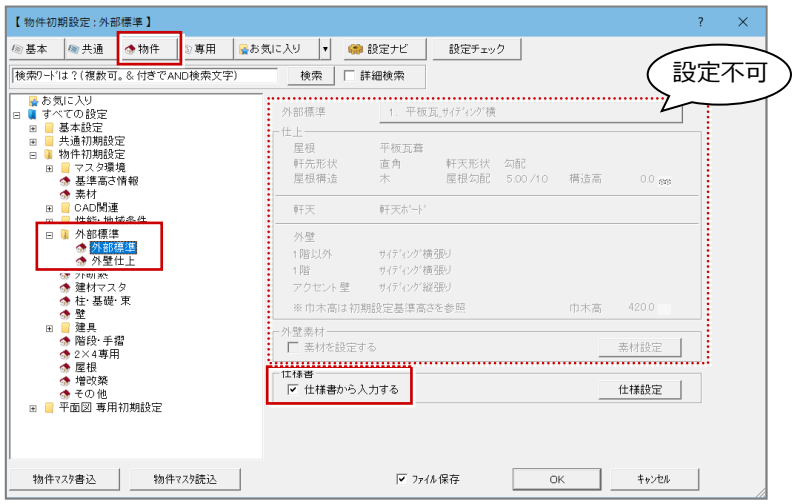
［仕様書パネル］
［仕様一覧］ダイアログがパネル化され、ドラッグ処理などの操作がしやすい状態になります。
［一覧］をクリックすると、［仕様一覧］ダイアログが開きます。

※図面から作成時の並び順はデータ保存順などが影響し、図面編集後は並び順が異なる場合があります。

物件初期設定の外部標準についての

仕様書を使用する場合、［物件初期設定（外部標準－外部標準）］の［仕様書］にある［仕様書から入力する］が ON になり、仕様書にある屋根や外壁仕上が優先されるため、［外部標準］が設定不可になります。

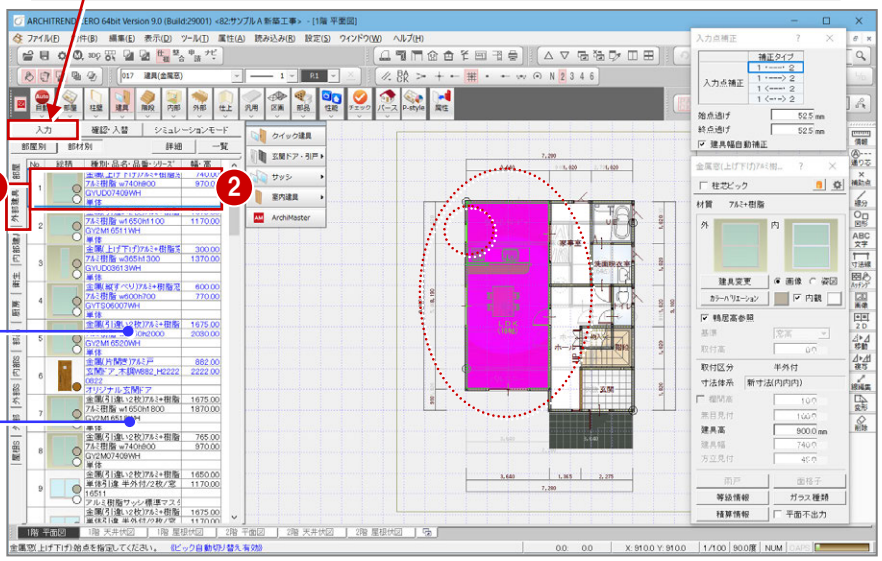
「仕様書データ」を利用しない場合は、［仕様書から入力する］を OFF にしてください。



仕様を確認する

入力建具と関連付いた部屋、仕様書に登録された部屋属性を確認してみましょう。

［入力］が ON のとき、入力する（選択建具を関連付けた）部屋が変色します。



【1 階平面図】

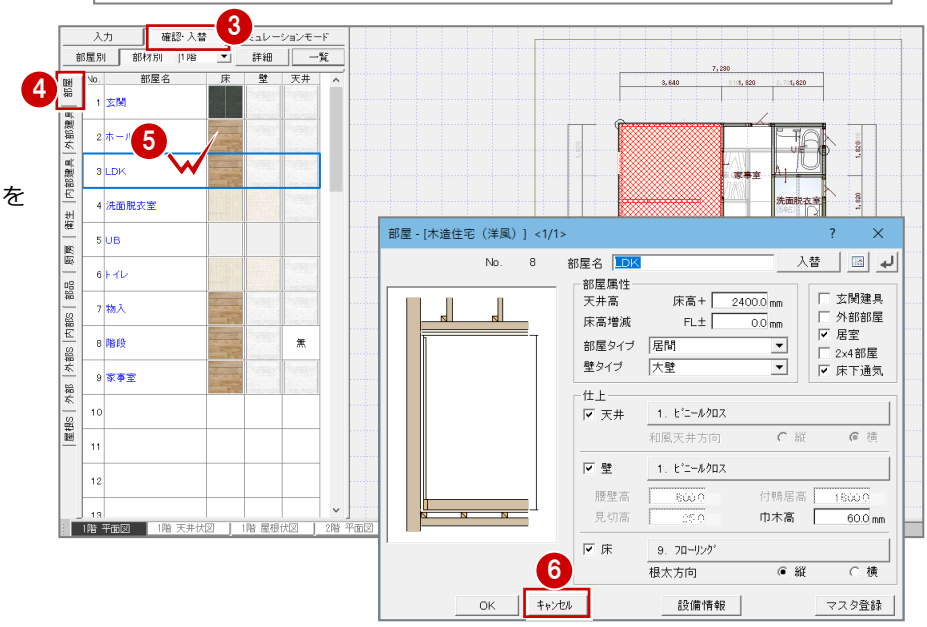
一覧の文字色、並び順について
青字：現在アクティブな図面（1 階平面図）に配置されているデータ
黒字：現在アクティブな図面に配置されていないデータ（2 階平面図に配置されている、または配置されていないデータ）
※図面から作成時の並び順に規則は無く、位置が異なることがありますが、画面と異なる場合でも個々で確認してください。

－ 建具と部屋の関連付けを確認する －

1. ［外部建具］タブをクリックします。
2. 確認する建具を選びます。
   CAD 画面に、関連付けされている部屋が塗り潰されて表示されます。

－ 部屋の属性を確認する －

［確認・入替］が ON のとき、選択しているデータの属性を確認できます。



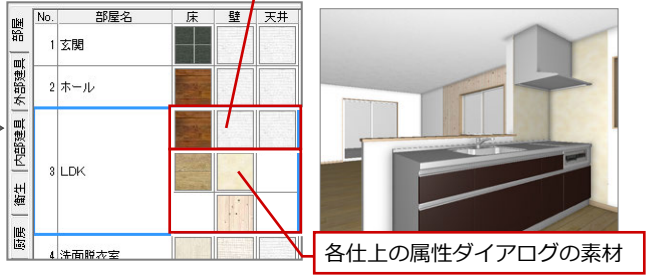
1. ［確認・入替］を ON にします。
2. ［部屋］タブをクリックします。
3. 確認する部屋をダブルクリックします。
4. 部屋の属性を確認して、［キャンセル］をクリックします。

［部屋］タブの各仕上の素材について

［部屋］タブに列挙される素材は、以下になります。（下図：LDK 変更例）

- 部屋の属性ダイアログで設定されている床・壁・天井仕上の素材
- 実際に配置されている床・壁・天井仕上の属性ダイアログで設定されている素材

部屋の属性ダイアログと実際に配置されている仕上データの素材が同じとき、各部屋には 1 種類の素材のみが表示されます。



・パースモニタからドラッグして仕上の素材を変更
・［仕上張り替え］などを使って 1 つの部屋に複数の仕上がある
このように、部屋の属性ダイアログと仕上データの素材が異なるとき、複数の素材が表示されます。

仕様を別ファイルに保存する

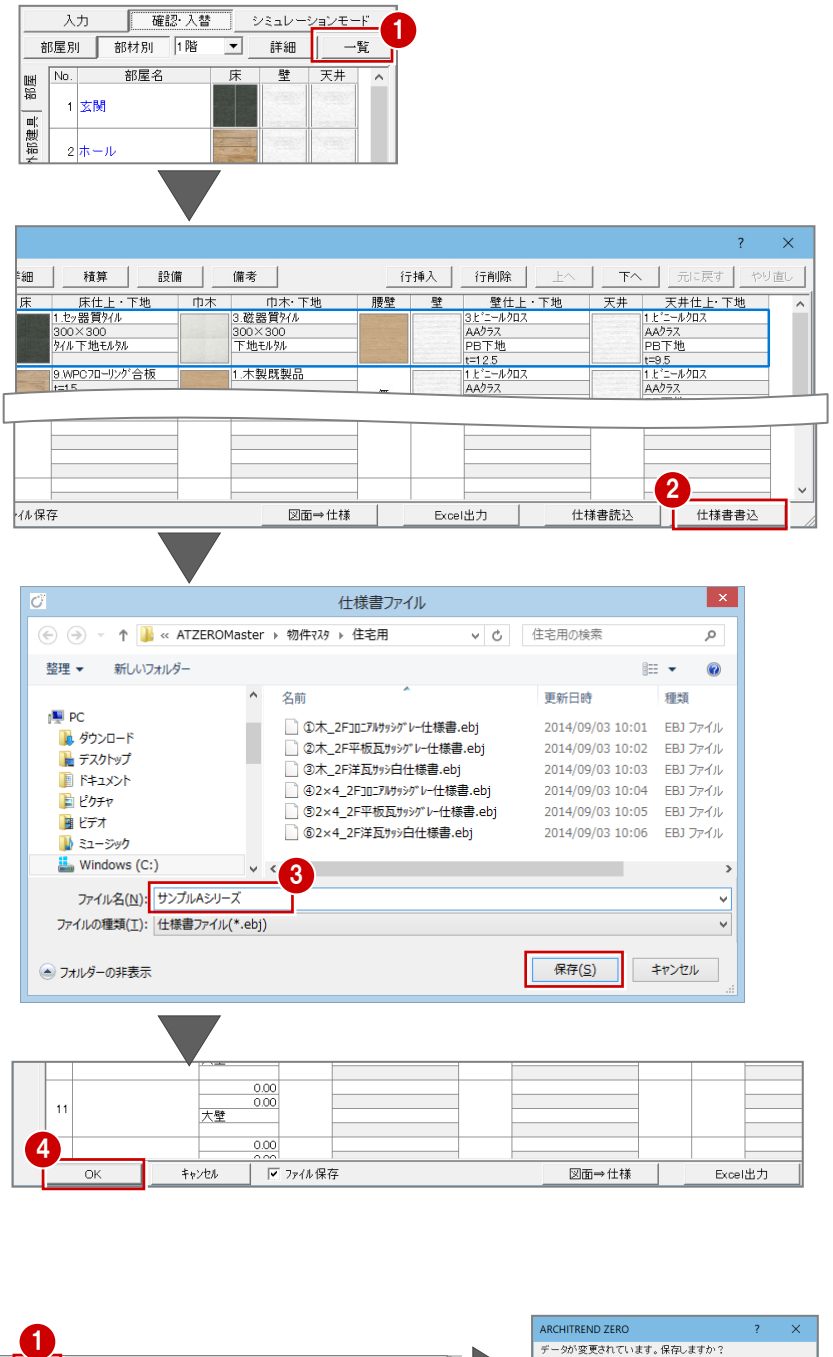
この仕様書を別物件で使用するには、仕様書ファイル（.ebj）として書き込みます。

❶ 仕様書パネルの［一覧］をクリックします。

❷ ［仕様一覧］ダイアログの［仕様書書込］をクリックします。

❸ ［仕様ファイル］ダイアログでファイル名を設定して、［保存］をクリックします。

❹ ［仕様一覧］ダイアログの［OK］をクリックして、ダイアログを閉じます。



仕様書ファイルの保存先

ファイルは、次のフォルダに保存されます。
「C:¥fcapp¥ATZERO¥ATZEROMaster¥物件マスタ¥住宅用」

※サンプル ebj ファイルとして、解凍後の「サンプル A シリーズ.ebj」を参考にしてください。

仕様書ファイルに書き込まれるデータ

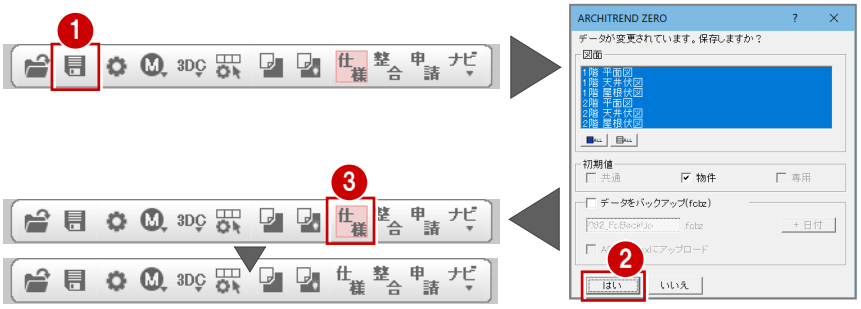
仕様書には、平面図、屋根伏図、天井伏図で入力されているデータおよびその属性、関連する部屋、仕上などのマスタ No や素材の情報が書き込まれます。
物件初期設定の基準高さ情報、平面図 専用初期設定などの設定は、仕様書に書き込まれません。

物件データに保存する

❶ ツールバーの［上書き保存］をクリックします。

❷ ［はい］をクリックして、データを保存します。

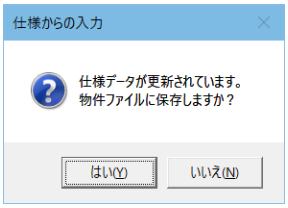
❸ 仕様書パネルを閉じるときは、［仕様］アイコンをクリックします。



編集中の物件で使用する仕様書

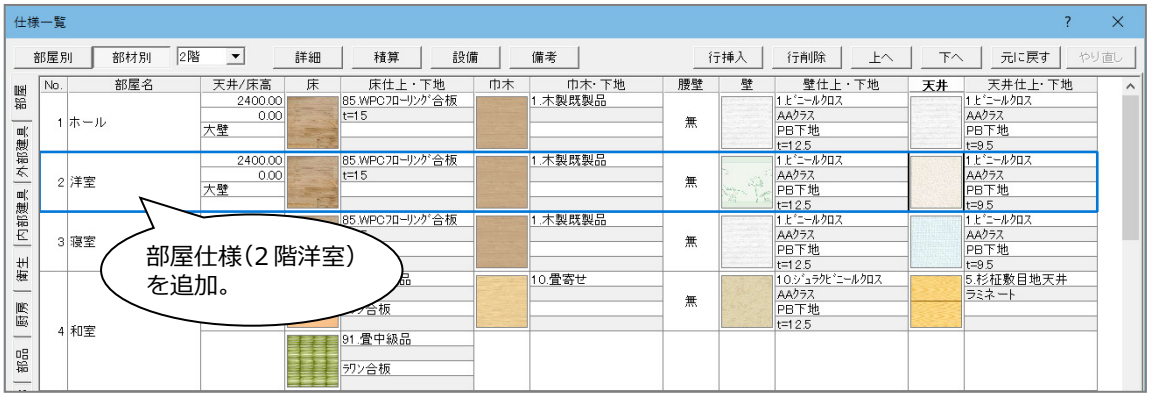
仕様書は、物件データを保存することで編集中の物件に保存され、次回もこの仕様書を使用することができます。

物件終了時にも確認メッセージが表示されます。



2 仕様書データを編集する

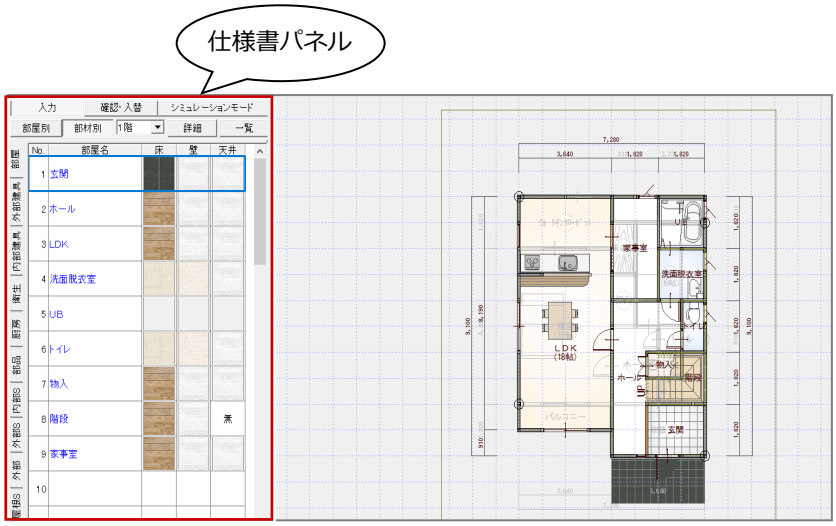
仕様書データに部屋や建具などを追加して、図面データに無い仕様を追加・更新することができます。



仕様書パネルを開く

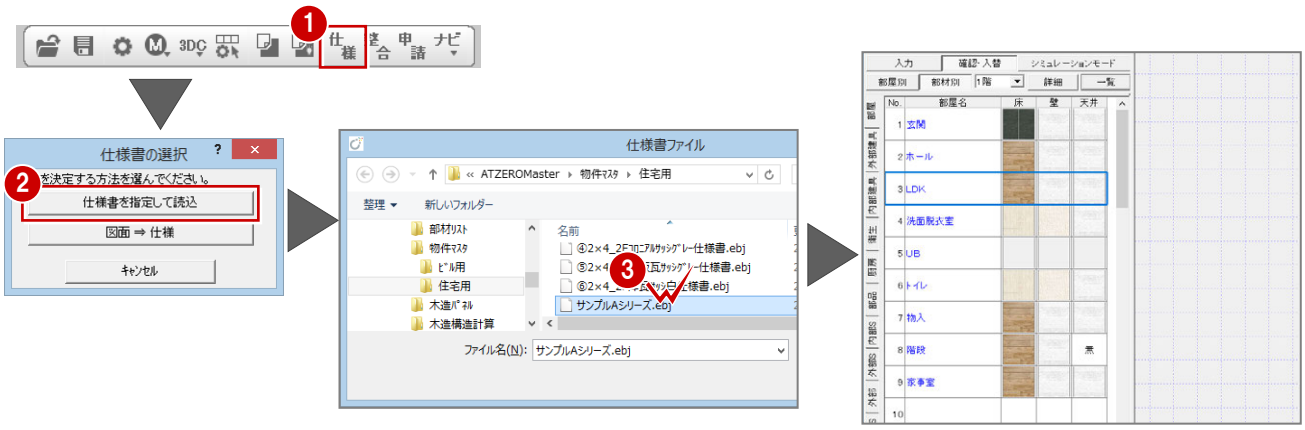
この例では、前ページの「サンプル A シリーズ」を保存した後の仕様パネルが開いた状態から、2 階部屋を追加する流れで解説します。

※異なるタイミングで仕様書を編集する場合、対象となる物件を開き、[仕様] アイコン（仕様書からの入力）をクリックして、物件データに保存されている仕様書パネルが表示された状態にします。



新規物件で既存仕様書を反映・編集する場合

新規物件に既存の仕様書データを関連付けるときは、[仕様書を指定して読込] から対象の仕様書ファイルを選択します。
※読み込み用のサンプル ebj として、解凍後の「サンプル A シリーズ.ebj」を用意しています。



部屋仕様を追加する

❶［一覧］をクリックします。

❷［部屋］タブが開いていることを確認して、階数を「2 階」に変更します。

❸ 部屋を追加する行を選びます。

❹［行挿入］をクリックします。
上側に空行が挿入されます。

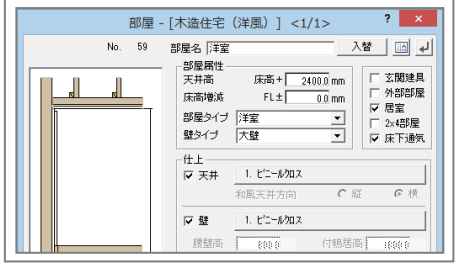
❺ 空行をダブルクリックします。

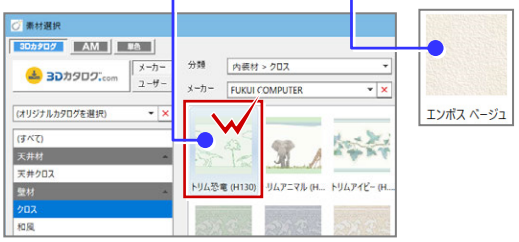
❻「2 階用」を確認して、追加する部屋（図例は洋室）をダブルクリックします。

> 部屋など仕様の追加は、仕様書パネルの未登録欄をダブルクリックしても可能です。

❼ 各仕上の素材を変更するときは、素材をダブルクリックして素材を選びます。

ダブルクリックすると、部屋属性ダイアログで天井高などの属性を変更できます。





建具の追加と部屋の関連付けを行う

追加した洋室に取り付ける建具を登録します。

－ 建具を選択する －

❶［外部建具］タブをクリックします。

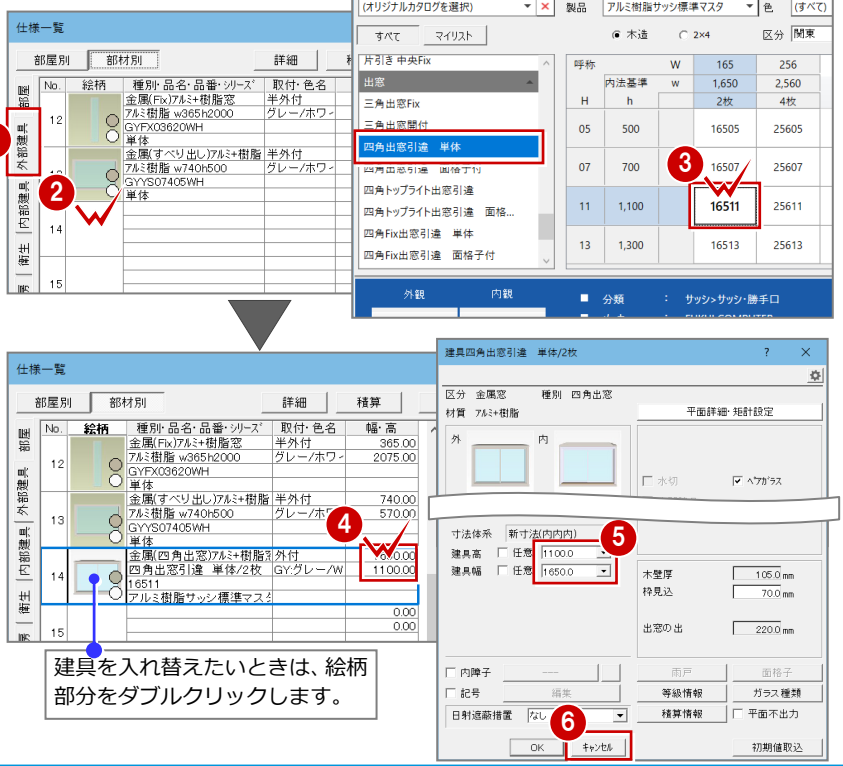
❷ 未登録欄をダブルクリックします。
［行挿入］で行を挿入してからでもかまいません。

❸［建具選択］ダイアログで使用する建具を選びます。（サッシ> 四角出窓引違 単体）

❹［幅・高］をダブルクリックします。

❺ 建具の属性ダイアログで建具高などの属性を確認・変更します。

❻ ここでは確認のみのため、［キャンセル］をクリックします。

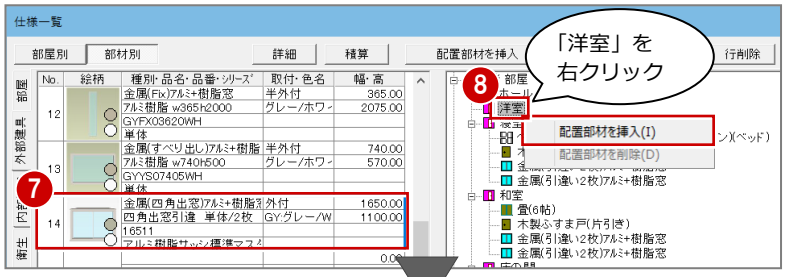


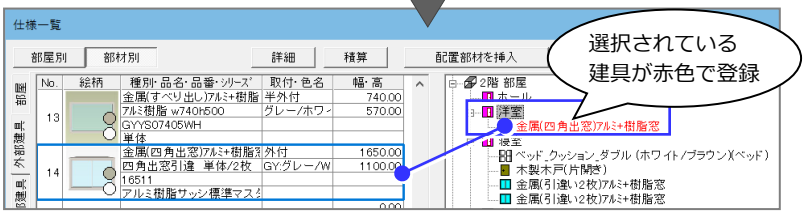
建具を入れ替えたいときは、絵柄部分をダブルクリックします。

－ 建具を入力する部屋を関連付ける －

❼ 関連付ける建具が選択されていることを確認します。

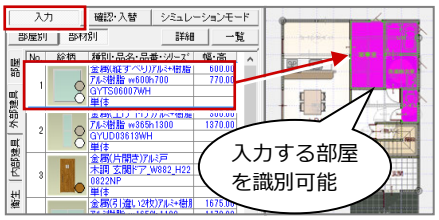
❽ 右欄の建具を取り付ける部屋（２階洋室）を右クリックします。メニューから［配置部材を挿入］をクリックします。
指定した部屋（２階洋室例）に建具が関連付けられます。



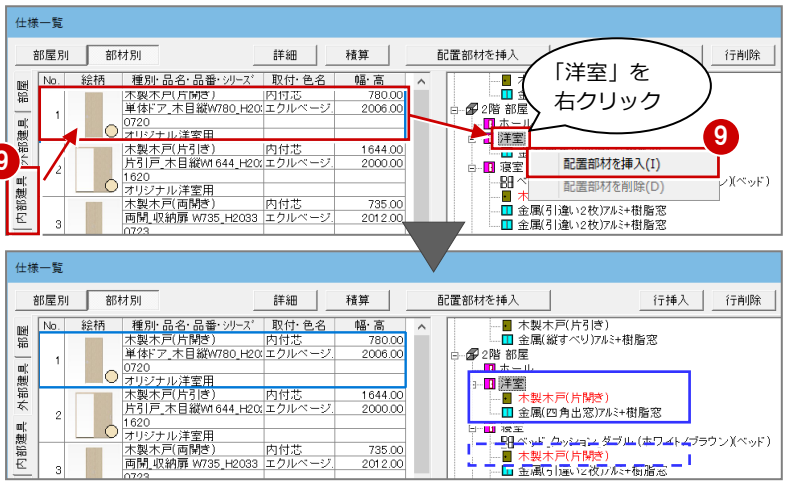


部屋の関連付け

建具や部品などを仕様通りの部屋に配置するために、部材と部屋を関連付けておく必要があります。
※ 関連付けを行わなくても部材は配置可能です。



❾ 同様に、[内部建具] タブをクリックして、洋室に取り付ける木戸を関連付けます。
※右図例では、寝室にも関連付けされている建具です。



仕様書ファイルを更新する

仕様を変更したため、ファイルを更新します。

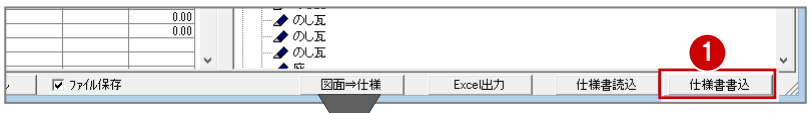
❶ ［仕様一覧］ダイアログの［仕様書書込］をクリックします。

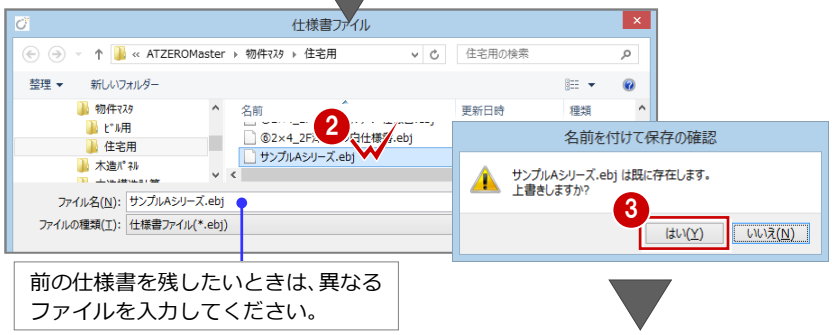
❷ ［仕様ファイル］ダイアログで上書きするファイル名をダブルクリックします。
※商品毎に区別する場合は、別ファイル名で保存します。

❸ 保存の確認画面で［はい］をクリックします。

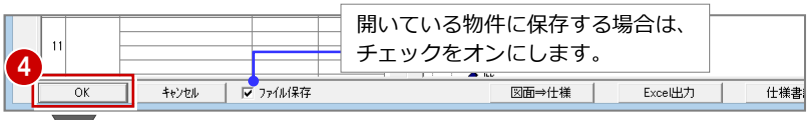
❹ 編集した仕様書を現在編集中の物件にも使用したいときは、[仕様一覧] ダイアログの［OK］をクリックします。

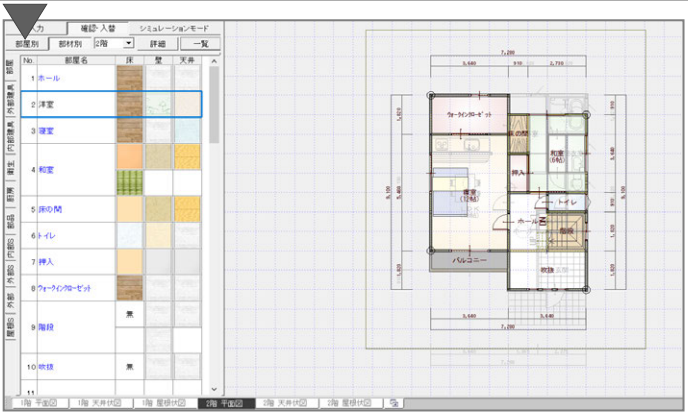
※ 編集中の物件には使用しないときは［キャンセル］をクリックします。





前の仕様書を残したいときは、異なるファイルを入力してください。

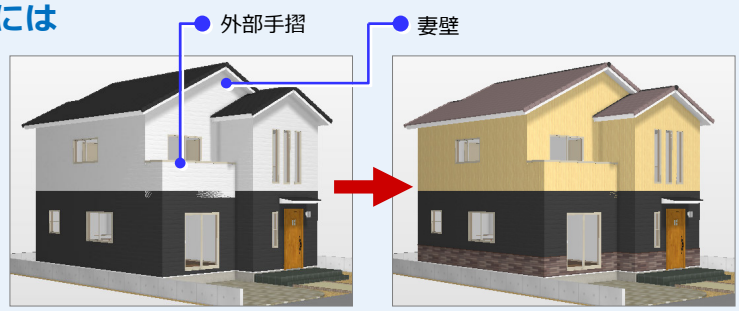




【補足】仕様書の変更を図面に反映するには

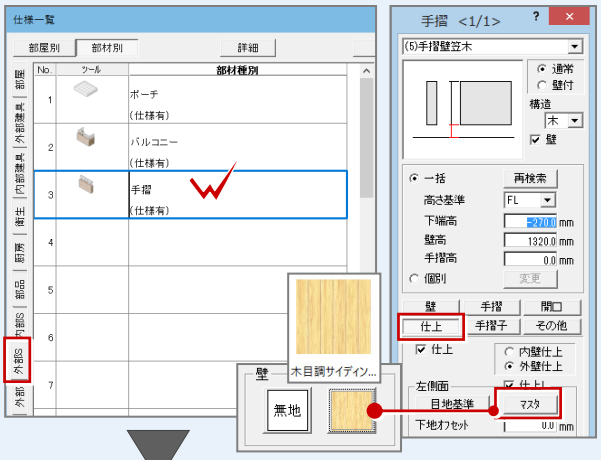
次のように、屋根と外壁仕上（腰壁）の素材を変更して仕様書を更新したとき、この仕様書を図面に反映することができます。

※「2. 仕様書データを変更する」で編集した仕様書は、部屋と関連する建具を追加しただけの状態のため、編集中の図面に反映するデータはありません。

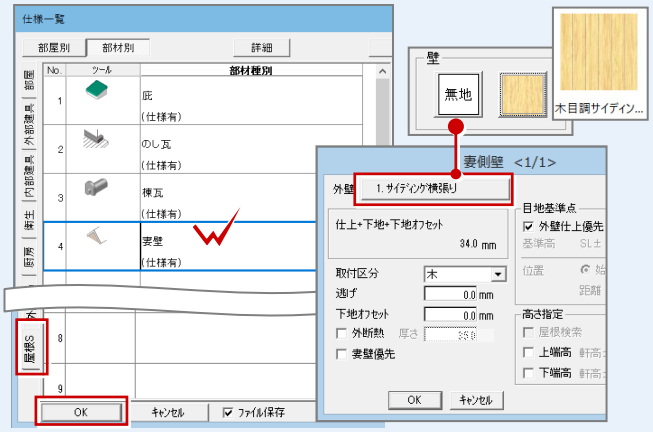


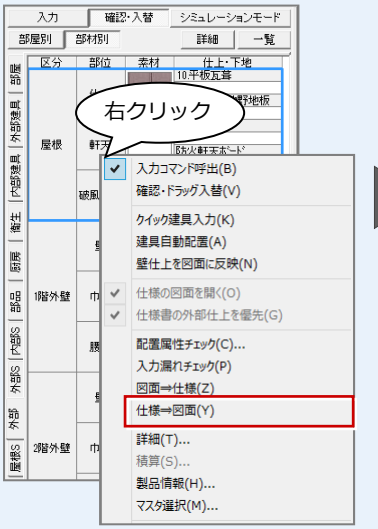
［外部］タブ：屋根・外壁仕上の素材、腰壁高を設定します。

［外部 S］タブ：外部手摺など外部シンボルを設定します。

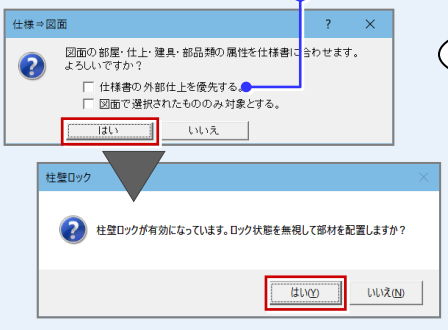


［屋根 S］タブ：妻壁など屋根シンボルを設定します。





仕様書に外部手摺や妻壁などの外部シンボルを削除して登録されていない、または外部と関連付けがない場合、「ON」にすると、［外部］タブの仕上を使ってこれらのシンボルにも反映されます。



［仕様⇒図面］で図面に反映される部材

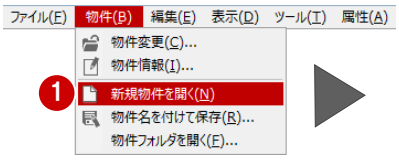
平面図、屋根伏図、天井伏図に対して、部屋、仕上、建具、部品、シンボルを反映できます。なお、［内部 S］の階段など一部反映できないシンボルがあります。

3 仕様書パネルから図面へ入力する

新規物件で仕様書ファイルを読み込み、仕様書パネルに登録されている部屋、建具などを入力して図面を作成してみましょう。

新規物件の情報を作成する

❶［物件］メニューから［新規物件を開く］を選びます。



❷ 物件マスタを選びます。

❸［完了］をクリックして、平面図の１階を開きます。

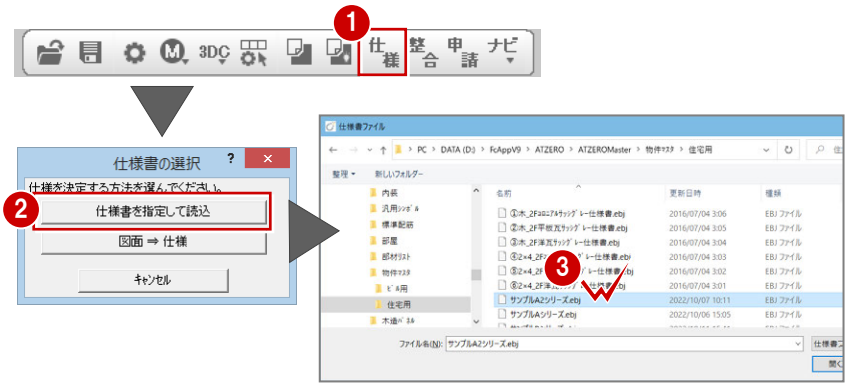
仕様書ファイルを開く

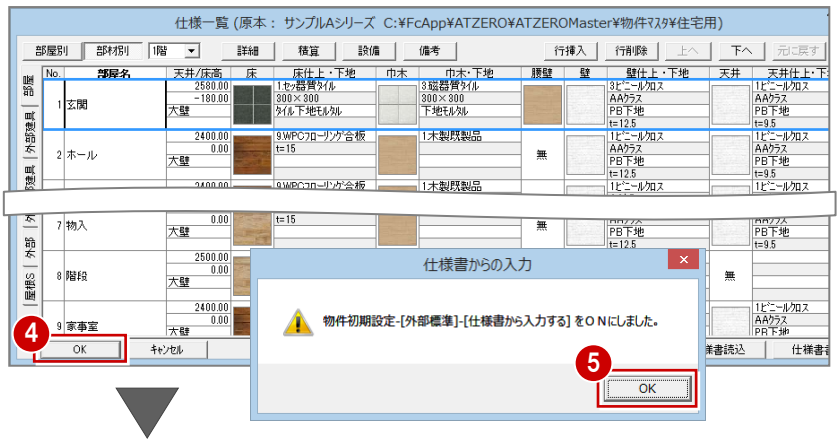
❶ ツールバーの［仕様］アイコン（仕様書からの入力）をクリックします。

❷［仕様書の選択］ダイアログで［仕様書を指定して読込］をクリックします。

❸［仕様書ファイル］ダイアログで仕様書ファイルを選びます。

※読み込み用のサンプル ebj として、解凍後の「サンプル A2 シリーズ.ebj」を用意しています。

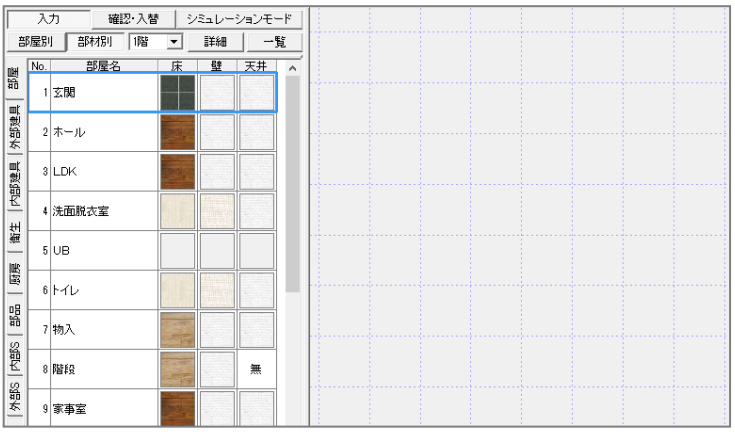




❹［仕様一覧］ダイアログを確認して、［OK］をクリックします。

❺ 物件初期設定の確認画面で［OK］をクリックします。

仕様書パネルが開きます。

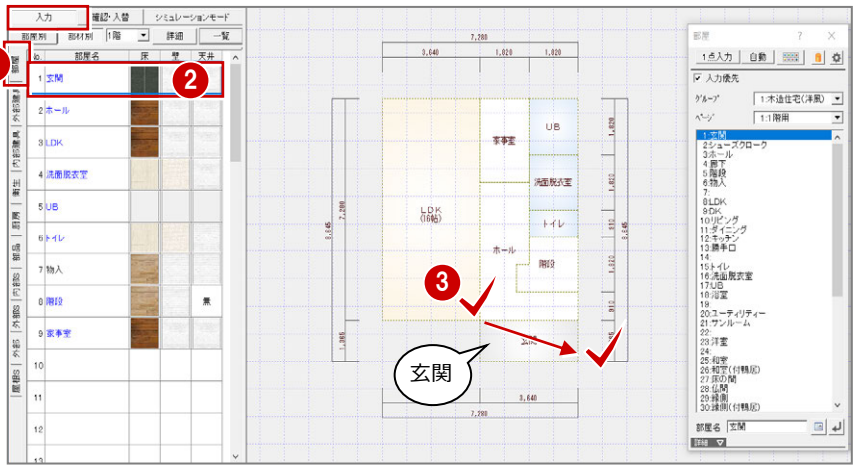


仕様書パネルから部屋を入力する

❶［部屋］タブが開かれ、［入力］が ON になっていることを確認します。

❷ 入力する部屋を選びます。
［部屋］ダイアログが開きます。

❸ 部屋の範囲を指定します。
部屋を入力すると、仕様書パネルの部屋は青文字に変更されます。



【1 階平面図】

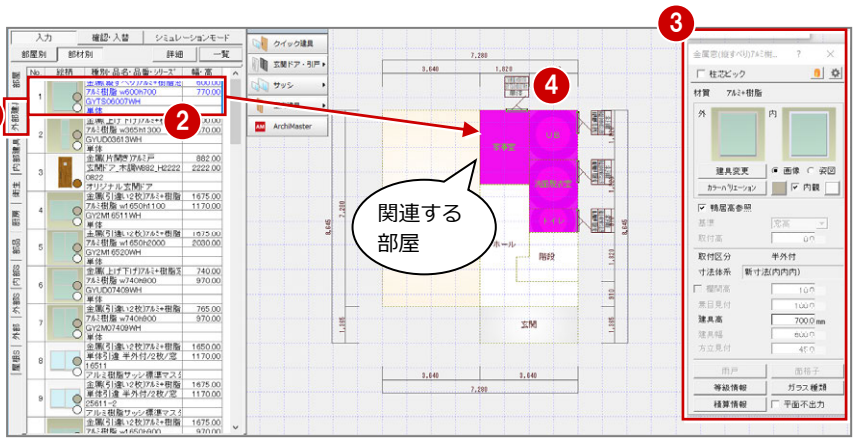
仕様書パネルから建具を入力する

❶［外部建具］タブをクリックします。

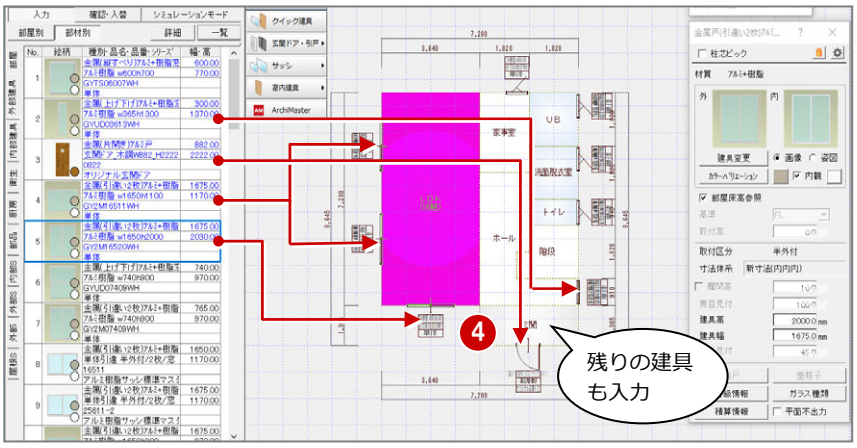
❷ 入力する建具を選び、関連付けられた部屋を確認します。

❸ 建具の入力点補正、属性ダイアログで建具高などを確認します。

❹ 建具を入力します。

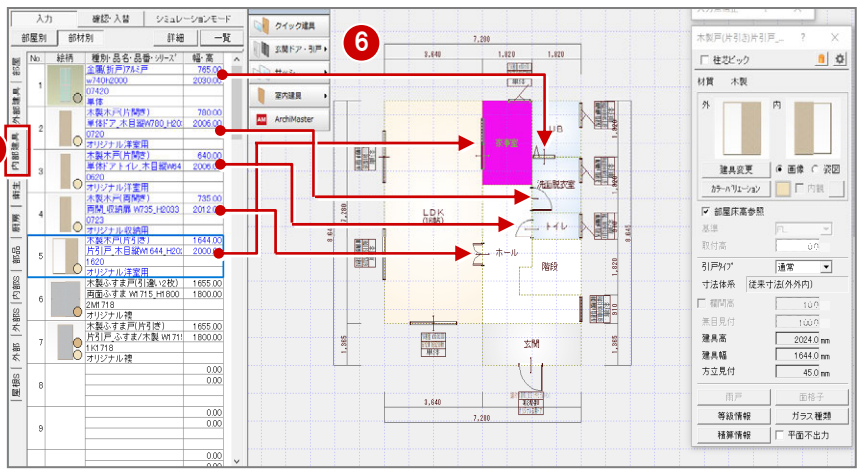


【1 階平面図】



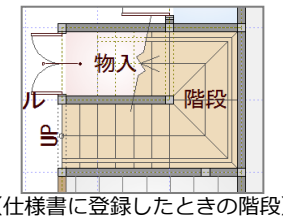
❺［内部建具］タブをクリックします。

❻ 同様に、1 階に内部建具を入力します。

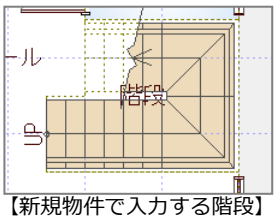


仕様書パネルから階段を入力する

ここでは、仕様書に登録したときの階段と同じ高さ、形状のものを入力します。



【仕様書に登録したときの階段】



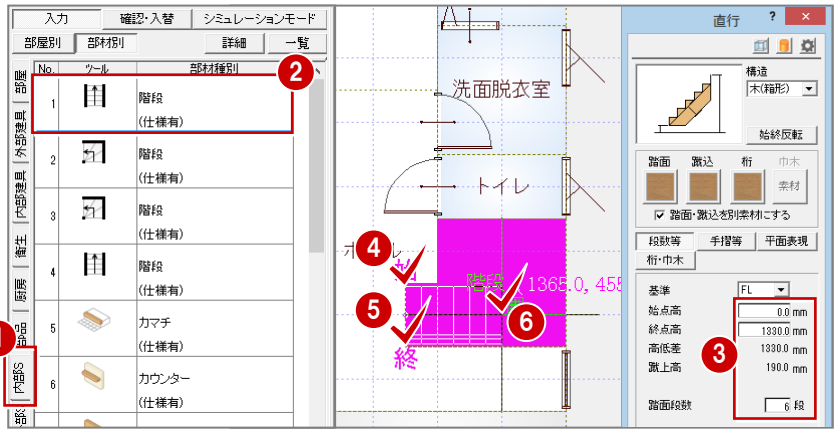
【新規物件で入力する階段】

❶［内部 S］タブをクリックします。

❷ まず 1 つ目の直行階段を選びます。

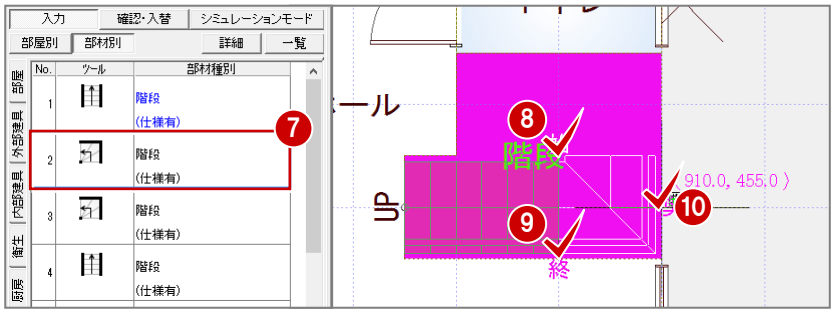
❸［直行］ダイアログには、仕様書に登録したときの階段の高さ、段数がセットされています。
ここでは、このまま入力します。

❹〜❻ 階段の内側 ⇒ 外側 ⇒ 直行階段の終点をクリックします。

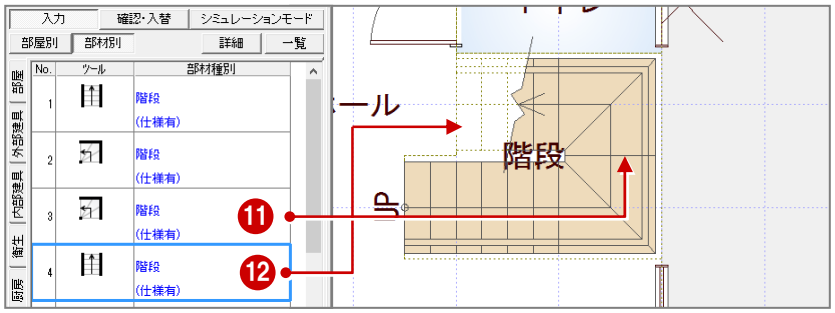


❼ 続けて、2 つ目の廻り階段を選びます。

❽〜❿ 廻り階段の内側 ⇒ 外側 ⇒ 階段の奥行きをクリックします。

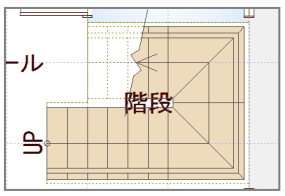


⓫⓬ 残りの廻り階段、直行階段を入力します。

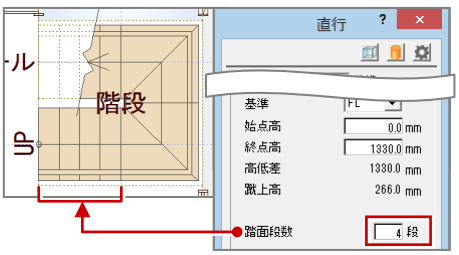


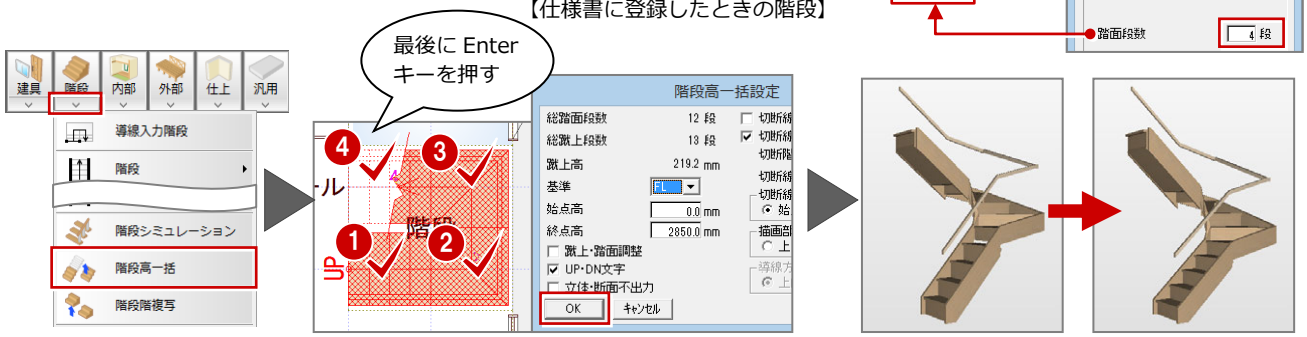
階段属性の高さ・段数について

建物の階高や階段の奥行きなど、仕様書に登録した階段と相違がない場合は、ダイアログにセットされた高さ、段数のまま入力してかまいません。
例えば、右図のように階段の奥行きが異なる場合は、段数を変更して階段を入力し、最後に［階段］メニューの［階段高一括］で高さを再設定してください。



【仕様書に登録したときの階段】



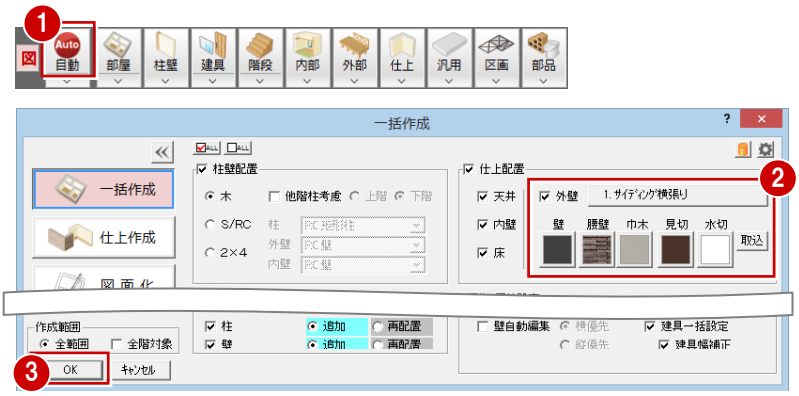


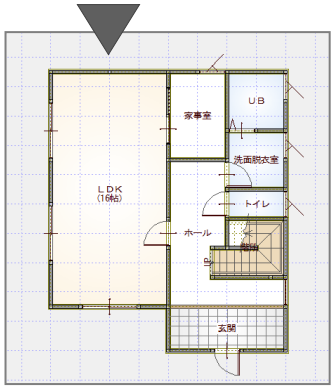
柱・壁・仕上を自動配置する

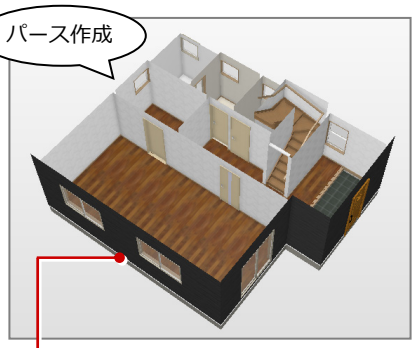
❶［自動］をクリックします。

❷［一括作成］ダイアログの［仕上配置］の外壁が仕様書に登録されている素材になっていることを確認します。

❸［OK］をクリックします。







床仕上や外壁仕上が仕様書通りになっていることを確認します。

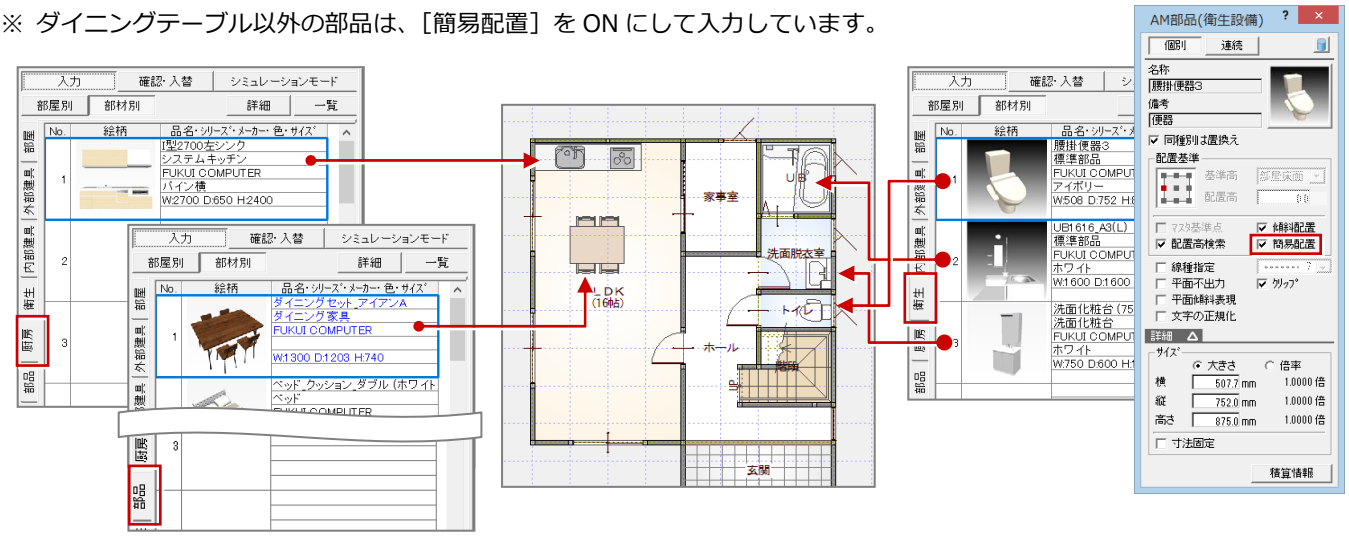
通し柱の入力

ここでは、通り柱の入力を省略していますが、一括作成の前に［柱壁］メニューの［柱］から通し柱を入力してください。

仕様書パネルから部品を入力する

［衛星］［厨房］［部品］タブをクリックして、部品を入力します。

※ ダイニングテーブル以外の部品は、［簡易配置］を ON にして入力しています。

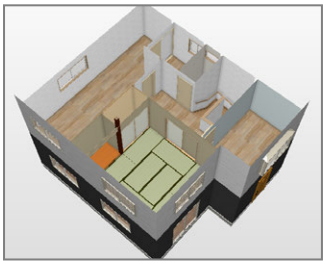


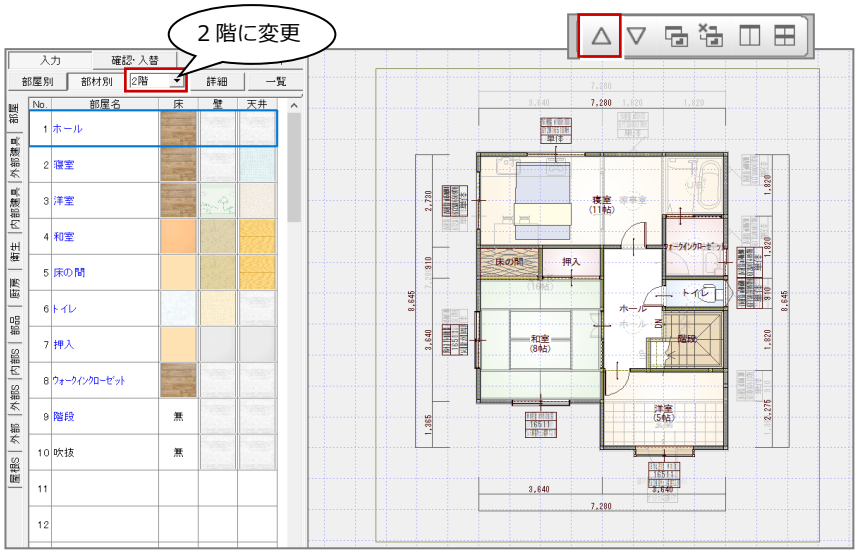
2 階を入力する

2 階平面図を開き、同様な手順で部屋、建具を入力して、一括作成を行います。

・ 初めて 2 階平面図を開いたときは、自動的に 1 階の階段が複写されます。（階段部屋の入力は必要）

・2F 建具も各部屋に関連付けされています。

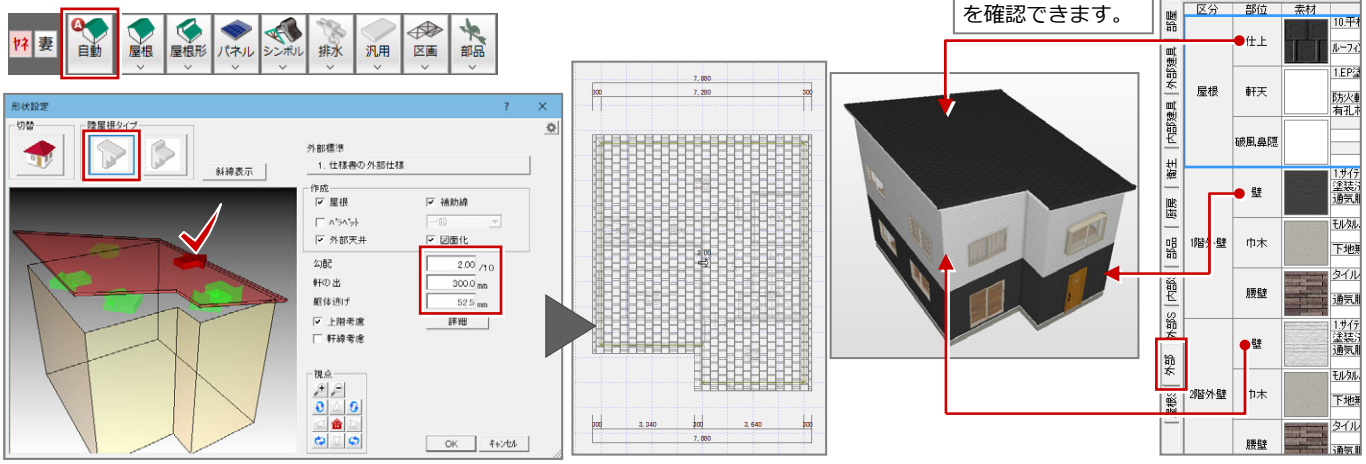




【2 階平面図】

屋根を自動配置する

「屋根伏図」の［自動］を使って、「勾配 2.0」の片流れ屋根を自動配置します。



【補足】仕様を入れ替えて図面に反映するには

データの入力後、1 部材の仕様だけを別のアイテムに入れ替えて、その仕様だけを図面に反映するには、［確認・入替］を使用します。

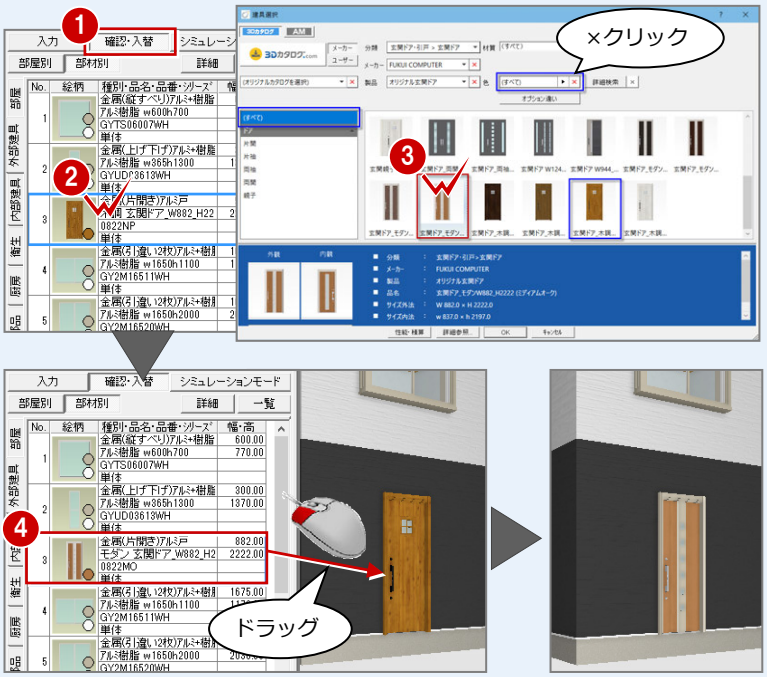
ここでは、パースモニタを使って入れ替えた部材を図面に反映するため、パースモニタを開いておきます。

❶ 仕様書パネルの［確認・入替］を ON の状態にします。

❷ ここでは［外部建具］タブを開き、入れ替える建具をダブルクリックします。

❸ 使用する建具を選びます。

❹ 仕様書パネルから入れ替える建具を、パースモニタの変更位置までドラッグします。



部屋の場合

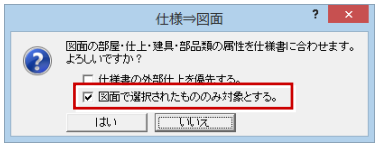
部屋名をダブルクリックすると、部屋の属性変更ダイアログで天井高などを変更できますが、ドラッグで天井高などを反映することはできません。右クリックして［仕様⇒図面］で反映します。

※ 床・壁・天井をダブルクリックすると、各部位の素材を変更でき、パースモニタの各部位へドラッグすると、面単位で素材を変更できます。

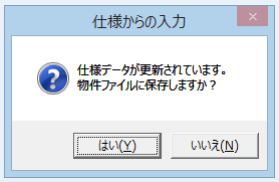
パースモニタを開いていない場合

仕様書パネルで選択している部材のみを図面に反映するには、右クリックして［仕様⇒図面］を選び、［図面で選択されたもののみ対象とする］を ON にします。

※ 部屋、外部仕上など個別に反映できないものがあります。



仕様書パネルを閉じるとき、保存の確認画面が開きます。



※ この物件データだけの仕様書として保存されます。次回仕様書を開いたときも、この変更した内容の仕様書が開きます。

※ 変更した仕様書を別物件でも使用する場合、仕様書パネルの［一覧］をクリックして、［仕様一覧］ダイアログの［仕様書書込］でファイルを更新してください。

【補足】別仕様で立体と見積をシミュレートするには

［シミュレーションモード］を使用すると、現在の仕様書（例：サンプル A2 シリーズ）で作成した物件のままで、別案仕様書（サンプル B シリーズ）でのパース、手間なし積算などの見積を図面に反映せずに確認することができます。
シミュレーションの結果がよければ、図面に属性を反映することができます。
※読み込み用のサンプル ebj として、解凍後の「サンプル B シリーズ.ebj」を用意しています。

【サンプル A2 シリーズ】

別仕様で
シミュレート

元の仕様に戻す

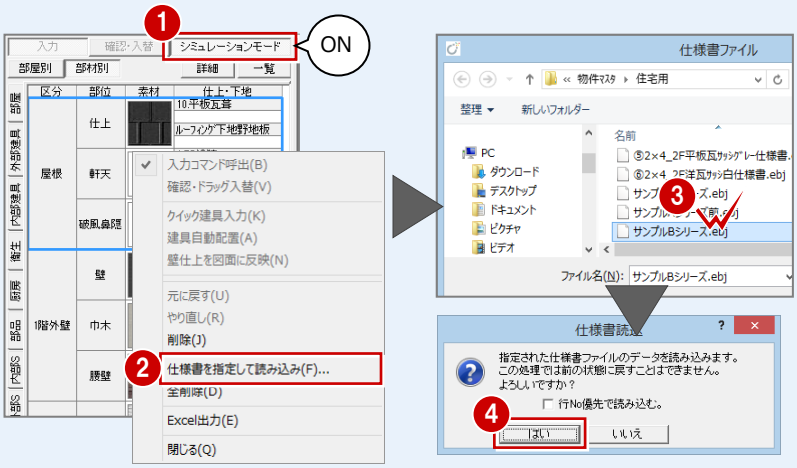
【サンプル B シリーズ】

❶ 仕様書パネルの［シミュレーションモード］を ON の状態にします。

❷ パネルで右クリックして［仕様書を指定して読み込み］を選びます。

❸ 別仕様書を選びます。

❹ 確認画面で［はい］をクリックします。

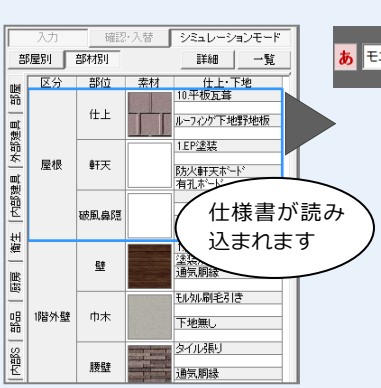


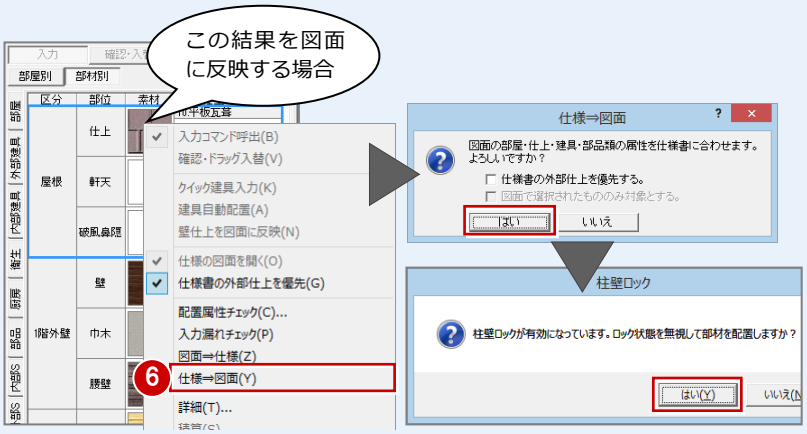
❺ パースモニタの［再作成］メニューから［前回と同じ条件で再作成］を選びます。

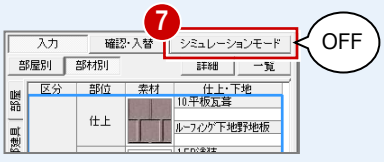
❻ シミュレートの結果を図面に反映するには、パネルで右クリックして［仕様⇒図面］を選びます。

※ 読み込んだ仕様書を元に戻すには、再度ポップアップメニューの［仕様書を指定して読み込み］で保存済み仕様書を選び、パースモニタを再作成します。

❼ 仕様書パネルの［シミュレーションモード］を OFF の状態にします。







個別に部材を変更してシミュレーション

別仕様書を読み込まず、素材や建具などをダブルクリックして個別に部材を入れ替えると、指定した部材だけをシミュレートできます。
この仕様を採用しない場合、仕様書を読み込み直すか、右クリックして［元に戻す］で 1 つ 1 つ仕様を元に戻す必要があります。

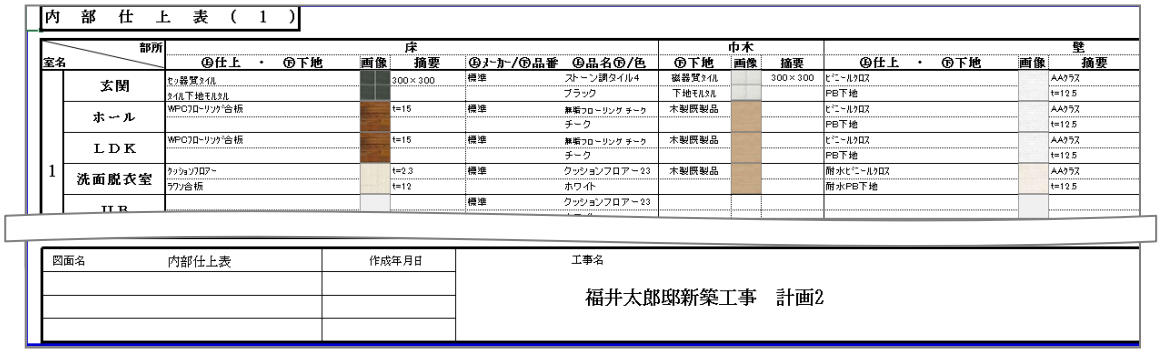
見積のシミュレーション

［シミュレーションモード］を使って、手間なし積算（数量拾い・積算・工事別集計も可）を行うことで、比較見積を行うことができます。

1. ［シミュレーションモード］を OFF の状態で、手間なし積算（1 面目）に自動集計します。
2. 別仕様書に変更します。
3. ［シミュレーションモード］を ON に変更し、手間なし積算（2 面目）に自動集計します。

4 仕上・設備の仕様一覧を作成する

仕様書から外部仕上仕様（外部仕上表、外部建具（玄関建具のみ））、内部仕上仕様、設備仕様の一覧を、用意しているテンプレート（雛型）を使って Excel ファイルに出力します。

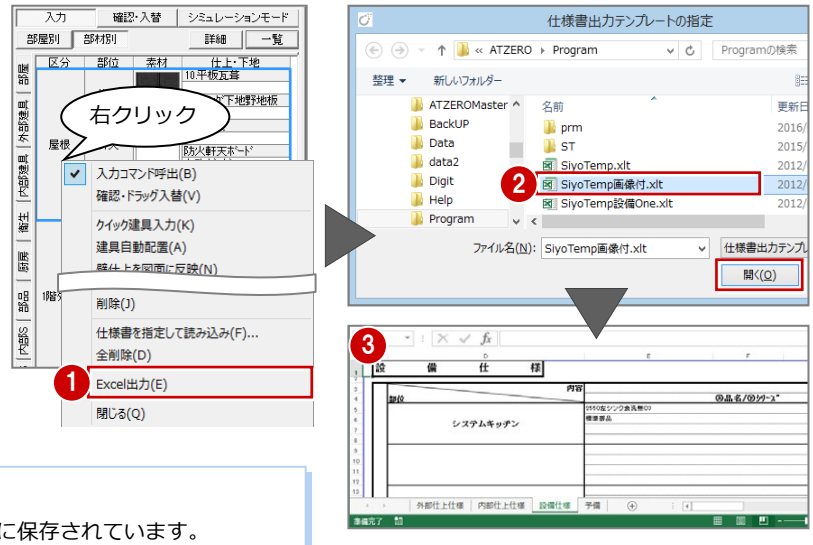

内部仕上表（1）

室名	部所	床 ⑧仕上・⑦下地	画像	摘要	⑧ﾒｰｶｰ/⑧品番	⑧品名⑦/色	巾木 ⑦下地	画像	摘要	壁 ⑧仕上・⑦下地	画像	摘要
1	玄関	ｾﾗ器質ﾀｲﾙ		300×300	標準	ストーン調タイル4	磁器質ﾀｲﾙ		300×300	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ		AAｸﾗｽ
		ﾀｲﾙ下地ﾓﾙﾀﾙ				ブラック	下地ﾓﾙﾀﾙ			PB下地		t=12.5
	ホール	WPCﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板		t=15	標準	無垢フローリング チーク	木製幅製品			ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ		AAｸﾗｽ
						チーク				PB下地		t=12.5
	ＬＤＫ	WPCﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板		t=15	標準	無垢フローリング チーク	木製幅製品			ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ		AAｸﾗｽ
						チーク				PB下地		t=12.5
	洗面脱衣室	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱｰ		t=2.3	標準	クッションフロア－23	木製幅製品			耐水ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ		AAｸﾗｽ
		ﾗﾜﾝ合板		t=12		ホワイト				耐水PB下地		t=12.5
	ＵＢ				標準	クッションフロア－23						

図面名	内部仕上表	作成年月日	工事名
			福井太郎邸新築工事　計画2

仕様書ひな形（Excel）に出力する

1. 仕様書パネルで右クリックして［Excel 出力］を選びます。
2. ［仕様書出力テンプレートの指定］ダイアログで仕様書のテンプレート（雛型）を選択して、［開く］をクリックします。
3. Excel が開きます。内容を確認・修正して保存します。



テンプレートについて

「○:¥FcApp¥ATZ¥Program64（Program）」フォルダに保存されています。

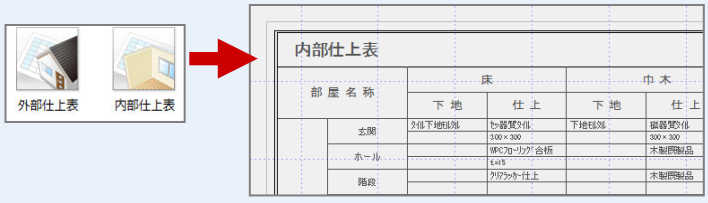
テンプレート	内容
SiyoTemp.xlt	外部仕上仕様（玄関建具を含む）、内部仕上仕様、設備仕様を出力します（素材・建具・部品の画像なし）。
SiyoTemp 画像付.xlt	素材・建具・部品の画像を付けて、外部仕上仕様（玄関建具を含む）、内部仕上仕様、設備仕様を出力します。
SiyoTemp 設備 One.xlt	「SiyoTemp.xlt」とは異なり、外部仕上仕様と設備仕様を 1 つのシートにまとめて出力します（素材・建具・部品の画像なし）。

Excel に出力される仕様内容

実際に図面に入力されているデータではなく、仕様書パネルに登録されている内容が出力されます。
例えば、仕様書パネルに、図面に入力していない部屋や設備があっても、Excel に出力されることになります。

【補足】Excel 出力と外部仕上表・内部仕上表プログラムの使い分け

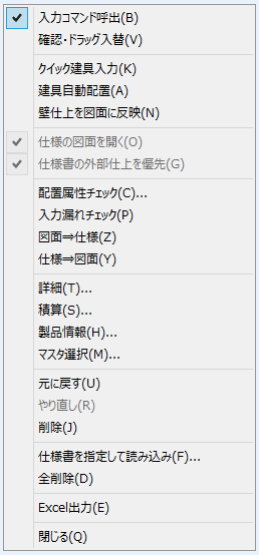
処理選択の外部仕上表と内部仕上表プログラムを使っても、外部仕上表と内部仕上表を作成できます（Excel 出力とはひな形が異なります）。
仕様一覧を作成する場合、ひな形や目的に応じてどちらを使用するか決めてください。



プログラム	利点
Excel 出力	・ 素材や建具の画像付きの一覧を作成できる。 ・ Excel ファイルのため、他のパソコンでも閲覧できる。
外部仕上表・内部仕上表	・ 仕上表を図面に起こして編集、レイアウトできる。 ・ 平面図など他図面といっしょに物件データとして管理できる。

【補足】仕様書パネルのポップアップメニュー

仕様書パネルを右クリックしたときに表示されるポップアップメニューのコマンドについて紹介します。



コマンド	機能
入力コマンド呼出	仕様書パネルで選択している部材を入力できるモードに切り替えます（仕様書パネルの［入力］と同じ）。
確認・ドラッグ入替	部材と図面の関連付けを確認、また仕様を入れ替えます。 ON のとき、関連付けられたデータが赤く表示され、配置位置を確認できます。また、仕様をダブルクリックすると、建具・部品・素材の入れ替え、部屋の属性変更を行うことができます。 また、仕様をパースモニタへドラッグ＆ドロップすることで図面に反映できます。
クイック建具入力	仕様書に登録されている建具を、対象部屋を意識しないで入力します。 各部屋に登録されている建具の中で入力点間が近い建具が、配置対象になります。
建具自動配置	部屋と建具の関連付けをもとに、仕様書に登録されている建具を自動配置します。
壁仕上を図面に反映	選択した仕様書の仕上だけを、図面に反映します。 コマンドを実行すると、平面図が壁仕上入力モードに切り替わります。平面図上で、変更する壁仕上ラインをクリックします。
仕様の図面を開く	［確認・ドラッグ入替］が ON のときに切り替え可能です。 ON のとき、仕様データが配置される図面プログラムを自動的に開きます。 ［入力コマンド呼出］が ON のときは、常に ON となります。
仕様書の外部仕上を優先	［シミュレーションモード］が ON のときに使用します。 ON のとき、パースモニタの再作成時に、各外部シンボルの外壁や屋根が仕様書の外部仕上で作成されます。仕様書に屋根、外壁が複数登録されている場合には、その階の薄紅色の仕上で作成されます。 OFF のとき、平面図に配置されている状態でパースモニタを作成します。
配置属性チェック	図面に配置された属性と仕様書の内容を比較して、相違を確認して修正します。
入力漏れチェック	仕様書から入力した部材について、仕様書の配置情報と照合して入力漏れがないかをチェックします。
図面⇒仕様	平面図・屋根伏図・天井伏図に配置されているデータをもとに仕様書を作成します。
仕様⇒図面	仕様書の内容で、関連付いている平面図・屋根伏図・天井伏図に配置されているデータの属性（部屋属性、仕上素材、積算情報など）を変更します。
詳細	仕様の属性変更を行います。
積算	仕様の積算情報を変更します。
製品情報	AM 素材・建具・部品の情報を表示します。
マスタ選択	マスタ選択のダイアログを開いて、AM 素材・建具・部品を入れ替えます。
元に戻す	編集した状態を直前の状態に戻します。
やり直し	［元に戻す］で戻した内容を復帰します。
削除	選択されている行（仕様）を削除します。
仕様書を指定して読み込み	保存されている仕様書ファイル（*.ebj）を読み込み、現在の仕様書を入れ替えます。
全削除	開いている仕様書の内容（全タブの仕様）を全て削除します。 Shift キーを押しながら［全削除］をクリックすると、開いているタブの仕様だけを全て削除します。 ※ 誤って削除した場合は、ポップアップメニューの［元に戻す］を実行してください。
Excel 出力	テンプレートを使って、外部仕上仕様（外部仕上表、外部建具（玄関建具のみ））、内部仕上仕様、設備仕様の一覧を Excel に出力します。
閉じる	ポップアップメニューを閉じます。